

令和4年度 (宮城県立山元支援) 学校の研究概要 ～令和5年1月末現在～

運営委員氏名 (菅原 彩)

研究テーマ	個に応じた指導・支援の充実を目指して ー少人数グループでの学び合いと事例研究を通してー
研究目標	事例研究と少人数グループでの学び合いを通して、児童生徒一人一人の実態に応じた指導・支援の在り方や工夫・改善について探る。
研究内容・方法 研究計画等	○事例研究レポート 「一人一事例」の事例研究を行い、レポートとしてまとめる。テーマは各自が取り組みたい内容をエントリーシートに記入し、それを基に少人数グループで話し合いを経て実践テーマや方針等を設定し、取り組む。担任をしていない教員は、それぞれ担当している業務内容の課題や効率化を図る手立て等をテーマとする。 ○少人数グループでの学び合い 研究を進める単位として、学部や教育部門の垣根を越えた少人数グループを設定する。各グループにはファシリテーターとして、主幹教諭、学部主事、研究副部長と各グループで選出された教員が加わり、学び合いを促進する役割を担う。学び合いの場面では、「フリートーク」「自由奔放」「批判厳禁」「便乗歓迎」「質より量」を共通認識し、研究を進めていく。 ○教員間の情報交換と学び合い 「ヤマリク」という名称で、校内研究と関連するスキルアップ研修会も取り入れて行っている。全職員で学びたいことや身に付けたい技術などを出し合い、内容やジャンルによってグルーピングし、グループ毎に具体的な内容を決定して「学び合う」研修を進めている。今年度は、「ICT活用」「地域の人・物・事調査」「物作り」「防災料理・調理実習」「手話サークル」の5グループで実施している。 ○研究計画 4月 全校研究日①(研究全体会) 5月 実態把握研修会 8月 全校研究日②(事例研究中間報告会) 2月 全校研究日③(事例研究報告会) 3月 全校研究日④(研究全体会) ヤマリク(スキルアップ研修会) 年6回程度
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	○これまでの経過 8月の中間報告会では、校舎内の8会場でそれぞれ3コマずつのポスターセッションを行った。事前にリストアップしてある発表内容から見聞きたい内容を各自が選び、少人数での学び合いを行った。その後、教員へのアンケートを実施したところ、7割の教員から「報告会は学び合いになった」という結果を得られた。 2月には、各自の1年間の事例研究のまとめとして、事例研究報告会を実施する予定である。

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお、項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。